

ワークショップで学ぶプレイバックシアターの手法

プレイバックシアターは、語られた経験を即興で演じるものです。語った人（テラー）は、自分の物語が芝居として再現されるのを観ます。演じる人（アクター）は、語られた物語の中でのテラーの気持ちを想像しながら、即興劇を演じます。プレイバックシアターは、コミュニティ形成やコミュニケーションスキル向上に役立ちます。

日 時

7月29日（日） 9:30～16:30

会 場

県立広島大学 三原キャンパス （三原市学園町1-1）

講 師

県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 教授 吉川ひろみ

対 象

保健福祉に関わる方、小中高等学校教員など

定 員

20名（先着順）

受 講 料

3,000円

申込締切

7月11日（水）必着

申込方法

【QRコード】下記のQRコード又は本学ホームページのURL上「申込フォーム」に入力してください。 <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=193>
申込締切日以降にメールで受講案内と振込案内を送付します。

【郵送】従来どおり郵送でのお申込みも可能です。
公開講座申込書（別紙）をご記入いただき、返信用封筒[※]を同封のうえ、下記へ送付してください。宛先は、公開講座「ワークショップで学ぶプレイバックシアター」係。
[※]返信用封筒（長形3号：横120mm×縦235mm）に82円切手貼付。

主催
問合せ先

県立広島大学 三原地域連携センター
〒723-0053 三原市学園町1番1号
電 話：0848-60-1200（平日9:00-12:00／13:00-17:00）
メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp



内 容	① ソシオメトリーとウォームアップ
	安心してオープンに取り組むために必要な雰囲気作りを行います。プレイバックシアターで使用されるゲームなどのエクササイズを紹介し、参加者が経験することにより、その効果を実感していただきます。
	② 演じる練習とストーリーからの学び
	人は誰でも演じることができます。演じる前段階として、傾聴と共感の機能が活性化されます。他者の心情を演じる中で、自己と他者との差異や共通性に気づきます。語られ演じられたストーリーには、インクルーシブな社会での共存のための知恵が含まれています。
備 考	動きやすい靴と服装でお越しください。

----- 切り取り線 -----

公開講座「ワークショップで学ぶプレイバックシアターの手法」申込書

名前（ふりがな）	
受講案内送付先	〒
電 話	() - 日中の連絡先：
E-mail	
所属先及び職種	
修了証交付	交付希望 ・ 不要